2026 年 11 月 4 日

YOKOHAMA Station City 運営協議会

PRESS RELEASE
YOKOHAMA
Station City

YOKOHAMA Station City で不用衣類の回収キャンペーン第 14 弾を実施

特典として YOKOHAMA Station City 内の施設で利用できるクーポンを進呈

「SDGs 未来都市」横浜の中心、横浜駅から SDGs に根差したエリア価値の向上を推進

開催期間：2026 年 11 月 28 日（土）・29 日（日） 2 日間

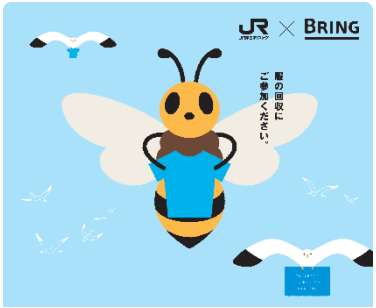
YOKOHAMA Station City 運営協議会は、2026 年 11 月 28 日（土）・29 日（日）の 2 日間、不用衣類を回収するキャンペーンを実施いたします。2020 年度から本キャンペーンを実施しており、今回は 14 回目の開催となります。

キャンペーンを通じて回収した不用衣類は、BRING（運営：株式会社 JEPLAN）のサプライチェーンにて、分別をして、リユースや多様なリサイクル技術で原料や、新しい製品等にリサイクルいたします。

JR 東日本グループは、ESG 経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組んでおります。YOKOHAMA Station City では、このキャンペーンを通じて SDGs に根差したエリア価値の向上を推進するとともに、不用衣類と引き換えに進呈したクーポンを YOKOHAMA Station City 内の施設でご利用いただくことで、多くのお客さまにエリアの魅力に触れていただきたいと考えております。

また、期間中は、Suica をタッチするだけで参加でき、近隣施設の割引券などが当たる Suica タッチ抽選会や、JRE POINT 相談会も実施予定です。（詳細は後日 YOKOHAMA Station City 公式HPにてお知らせいたします）。

ぜひこの機会に、YOKOHAMA Station City へお越しください。



不用衣類の回収キャンペーン キービジュアル



不用衣類の回収キャンペーン 過去の様子

不用衣類の回収イベント開催概要

開　催　期　間：2026 年 11 月 28 日（土）・29 日（日）
クーポン利用期限：2026 年 11 月 28 日（土）～2027 年 1 月 17 日（日）
回　収　場　所：JR 横浜タワー アトリウム 2 階（JR 横浜駅西口）
回　収　時　間：各日とも 9:00～13:00
概　　要：ご不用になった衣類を回収場所へお持ち込みいただくと、YOKOHAMA Station City 内の施設でご利用いただける「500 円分のクーポン」を衣類 1 点につき 1 枚進呈します。クーポンは 3,000 名さま相当分（お一人さま 2 枚配布想定）を先着で配布いたします。期間中、お一人さま 2 着まで（クーポンは期間中、お一人さま最大 2 枚まで）となります。
※クーポン配布終了後も、回収時間内は不用衣類の回収を受付いたします。
クーポン利用条件：対象施設にて、1 会計につき税込 3,000 円以上で 1 枚、税込 6,000 円以上で 2 枚、1 会計につき最大 2 枚までご利用可能です。
クーポン利用対象施設：ニュウマン横浜、シァル横浜、シァル横浜アネックス、JR 東日本ホテルメッツ 横浜、ルミネ横浜、エキュートエディション横浜、ローソン・スリーエフ JR 横浜タワー店
※一部、ご利用いただけない商品やサービスがございます。
※下記の店舗ではご利用いただけません(2026 年 11 月時点、変更となる場合がございます)。
ニュウマン横浜（横浜 MK アイクリニック）
シァル横浜(NewDays、元祖油堂、つけめん TETSU、他 期間限定 POP UP 等一部店舗)
ルミネ横浜（シャネル フレグランス&ビューティ、よこはま駅ビル眼科、朝日カルチャーセンター）
エキュートエディション横浜（STATION DESK）
主　　催　　者：YOKOHAMA Station City 運営協議会

YOKOHAMA Station City の「持続可能な開発目標（SDGs）」への貢献について

JR 東日本グループは、ESG 経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組みます。
具体的には、「安全」が経営のトッププライオリティであることをグループ共通の理念として掲げ、すべての事業の基盤であるステークホルダーの皆さまからの「信頼」を高めるとともに、「ヒト（すべての人）の生活における『豊かさ』を起点とした社会への新たな価値の提供」に向け日々の挑戦を続けていくことで、「持続可能な社会」とグループの持続的な成長を実現していきます。
YOKOHAMA Station City は、SDGs に根差した活動を通じて、新しい価値の提供とエリア価値の向上に取り組んでまいります。なお、この度の取り組みは、SDGs における下記 3 つの目標に貢献しています。

目標 9　強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
目標 11　都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする
目標 12　持続可能な消費と生産のパターンを確保する



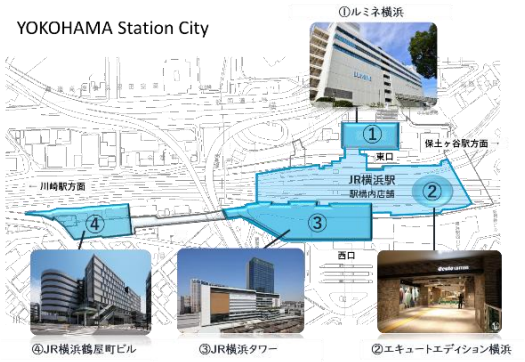
JR 東日本グループの SDGs の達成に向けた詳細：https://www.jreast.co.jp/company/csr/

「YOKOHAMA Station City 運営協議会」について

会長：小沼 智子（東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 マーケティング戦略部 副部長）
住所：東京都渋谷区代々木二丁目 2 番 2 号
URL：https://yokohamastationcity.com/

「YOKOHAMA Station City」の誕生に併せて発足した、JR 東日本グループ 10 社から成る JR 横浜駅のタウンマネジメント組織です。「YOKOHAMA Station City」に関する情報発信・PR をはじめ、JR 横浜タワー内のアトリウムや屋上広場「うみそらデッキ」、JR 横浜駅南改札内「SOUTH COURT」といったイベントスペースのトータル管理・運営などを通じて、JR 東日本グループ一体となって JR 横浜駅のイメージ向上および、駅周辺エリアの活性化に取り組んでいます。

【エリア内 JR 東日本グループの施設】



①ルミネ横浜
②JR 横浜駅（エキュートエディション横浜、駅構内店舗）
③JR 横浜タワー（ニュウマン横浜、シァル横浜、STATION SWITCH）
④JR 横浜鶴屋町ビル（シァル横浜アネックス、JR 東日本ホテルメッツ 横浜、ジェクサー・フィットネス&スパ 24 横浜）

【会 員】
東日本旅客鉄道㈱、㈱ルミネ、㈱JR 横浜湘南シティクリエイト、㈱JR東日本ビルディング、日本ホテル㈱、㈱JR 東日本クロスステーション、JR 東日本スポーツ㈱、㈱ジェイアール東日本企画、㈱JR 東日本スマートロジスティクス、㈱ジェイアール東日本物流（計 10 社） ※ 2026 年 11 月 1 日時点

「株式会社 JEPLAN」について

代表取締役執行役員社長：髙尾 正樹
住所 ： 神奈川県川崎市川崎区扇町 12-2
URL ： https://www.jeplan.co.jp
JR 東日本スタートアップ株式会社が主催する JR 東日本スタートアッププログラムにおける支援を進める企業です。「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。独自の PET ケミカルリサイクル技術を活用し、PET ボトルやポリエステル繊維などの廃 PET を石油由来と同等品質の素材へと再生することで、資源循環の推進と CO_2 排出量の削減に取り組んでいます。

※JR 東日本スタートアップ株式会社・・・2018 年 2 月設立。オープンイノベーションによる共創活動を加速するため、ベンチャー企業に対する出資および協業推進を行っています。
※「JR東日本スタートアッププログラム」・・・ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラム。

「BRING™」について

BRING™は様々なブランドや小売店等と協力して、消費者の使用済みの服や繊維製品を回収し、地球の資源に循環させるサービスを運営しています。また、多岐にわたるパートナーと連携することで、可能な限り行き先の見えるリユース、何になるかが分かるリサイクルを行っています。 みんなの思い出が詰まった服や繊維製品を、消費者が納得できる方法で循環させる。それが BRING の目指すサーキュラーエコノミーです。